

2017年8月 今月のトピック

『絶対収益型ファンド』

アナリスト 佐藤 明

2017年8月10日作成

絶対収益型ファンドを分類し、市場環境と過去のリスク・リターンを概観する。

『ポイント』

- 日本の公募ファンドから絶対収益型ファンドを抽出し、運用手法別に分類を行った。
- 日本の絶対収益型ファンド市場は、当初はマーケット・ニュートラル型を中心に設定され、その後、株式ロング・ショート型、マネージド・フューチャーズ型の設定が増え、近年はマルチ・ストラテジー型の設定が主流となっている。
- 絶対収益型ファンドは運用期間が短いファンド数が多く、リターンの傾向を運用手法別に確認するには十分ではないが、現存の長期運用ファンドではマーケット・ニュートラル型のリターンが相対的に良好であった。
- 日本の絶対収益型ファンドのリスク水準は平均すると5%前後であり、リスク水準とリターンに有意な関係性は無さそうである。

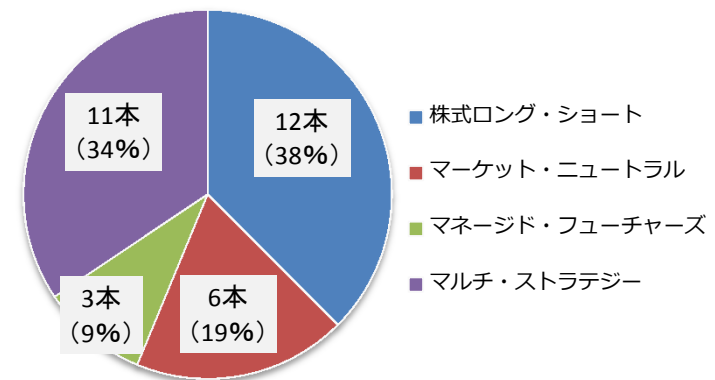
■日本の公募型ファンドにおける絶対収益型ファンドの市場

- 絶対収益型ファンドとは、株式など任意の資産の買い建てと売り建てを組み合わせることにより、特定の資産の市場動向に依存せずに収益獲得を目指す運用手法を用いたファンドである。今回は、当社のMAB資産分類で大区分「その他」資産、中区分「その他・絶対収益型」に含まれるファンドから、運用手法がロング・オンリーでアセット・アロケーションにより収益獲得を目指すファンドを除いたファンド群を絶対収益型ファンドと再定義し、その内訳とパフォーマンス等を概観する。
- 日本の絶対収益型ファンドは、公募投信の中ではマイナーな市場であり、公販市場(ETF、DC・SMA専用を除く)よりもラップ口座顧客を中心としたSMA市場でのニーズが大きかったといえる。公販ファンドの中で今回再定義した絶対収益型ファンドのファンド数は44ファンド、32ファンドシリーズであり、純資産残高は約1,500億円程度である。一方、SMA専用ファンドでは、ファンド数は31ファンド、29ファンドシリーズと公販ファンドより若干少ないながら、純資産残高は約4,300億円と公販市場の3倍近くの大きさになっている。

表 絶対収益型ファンドのファンド数（手法別）

	手法別	ファンド数	構成比	ファンドシリーズ数	構成比
公販	株式ロング・ショート	13	30%	12	38%
	マーケット・ニュートラル	6	14%	6	19%
	マネージド・フューチャーズ	8	18%	3	9%
	マルチ・ストラテジー	17	39%	11	34%
	合計	44	100%	32	100%
SMA専用	債券ロング・ショート	3	10%	2	7%
	マーケット・ニュートラル	6	19%	6	21%
	マネージド・フューチャーズ	1	3%	1	3%
	マルチ・ストラテジー	21	68%	20	69%
	合計	31	100%	29	100%

図 絶対収益型ファンドのファンド数（公販）



出所：三菱アセット・ブレインズ

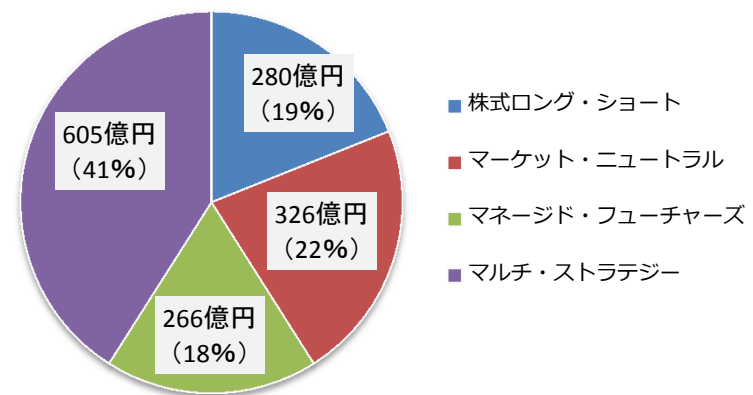
■絶対収益型ファンドの種類

- 絶対収益型ファンドの種類は、運用手法別に分類するのが一般的であるが、日本の絶対収益型ファンドは明確に分類されているわけではないので、独自に分類を行った。
- 手法別には以下の4種類に分類した。
 - 株式ロング・ショート：株式(主に国内株式)を投資対象としたロング・ショート運用。
 - マーケット・ニュートラル：同一資産(主に国内株式)の買い建てと売り建てをほぼ同規模で行う。
 - マネージド・フューチャーズ：計量的な手法で任意の資産(主に先物取引)の価格トレンドに追随した売買を行う。
 - マルチ・ストラテジー：ファンド・オブ・ヘッジファンズなど複数の運用手法を組み合わせた運用。
- 公販市場では、マーケット・ニュートラル型や株式ロング・ショート型で自社運用によるファンド設定が先行していたが、近年は欧米運用会社が運用するヘッジファンドを組み合わせたファンド・オブ・ヘッジファンズなどマルチ・ストラテジー型の設定が増加し、現在では純資産残高ベースで主流になりつつある。

図 絶対収益型ファンドの純資産残高（手法別）

	手法別	純資産残高 (2017/6)	構成比
公販	株式ロング・ショート	280	19%
	マーケット・ニュートラル	326	22%
	マネージド・フューチャーズ	266	18%
	マルチ・ストラテジー	605	41%
	合計	1,477	100%
SMA専用	債券ロング・ショート	12	0%
	マーケット・ニュートラル	409	9%
	マネージド・フューチャーズ	10	0%
	マルチ・ストラテジー	3,911	90%
	合計	4,342	100%

図 絶対収益型ファンドの純資産残高（公販）

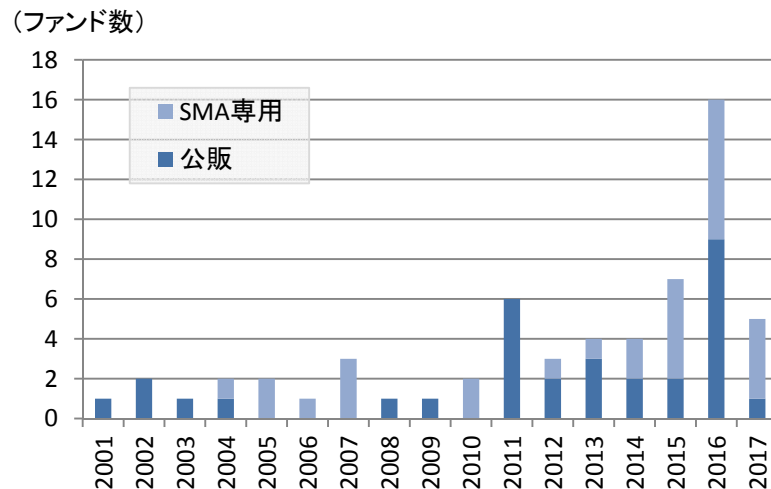


出所：三菱アセット・ブレインズ

■ 絶対収益型ファンドの手数料体系

- 絶対収益型ファンドの運用管理費用の特徴は、成功報酬を課すファンドが相対的に多いことである。公販ファンドでは全ファンドシリーズの約4割、SMA専用ファンドでも約2割が成功報酬を徴収している。成功報酬の一般的な形態として、ファンドのリターンが「前決算期までの費用控除後の最高基準価額」など予め定めた水準（ハイウォーターマーク）を超過した部分に一定の割合（主に20%）掛けた額を徴収している。
- 公販ファンドの成功報酬を含まない運用管理費用の水準は、運用手法によって若干バラつきがあり、マーケット・ニュートラル型が平均で約1.3%程度と最も低く、マネージド・フューチャーズ型が同約2.5%程度と高い。株式ロング・ショート型は運用管理費用水準は同約2.0%程度だが、成功報酬のあるファンドが約6割と多く、マルチ・ストラテジー型は運用管理費用、成功報酬付加割合とも平均的な水準である。
- SMA専用ファンドは、公販ファンドと比較すると運用管理費用水準、成功報酬付加割合ともに低い。これは、ラップ口座でファンドの運用管理費用とは別に契約資産に対する手数料が発生するためである。

図 設定年別ファンドシリーズ数



出所：三菱アセット・ブレインズ

表 絶対収益型ファンドの実質運用管理費用

	手法別	実質運用管理費用	成功報酬のあるファンドシリーズの割合
公販	株式ロング・ショート	2.0429%	58% (7/12)
	マーケット・ニュートラル	1.2830%	0% (0/6)
	マネージド・フューチャーズ	2.4879%	67% (2/3)
	マルチ・ストラテジー	2.0066%	27% (3/11)
	平均	1.9297%	38% (12/32)
SMA専用	債券ロング・ショート	1.1180%	0% (0/2)
	マーケット・ニュートラル	1.4495%	0% (0/6)
	マネージド・フューチャーズ	1.0026%	0% (0/1)
	マルチ・ストラテジー	1.1260%	30% (6/20)
	平均	1.1881%	21% (6/29)

■絶対収益型ファンドのリスク・リターン分布(過去3年)

- 過去3年間の年率のリスクとリターンの実績をファンド別に見てみると、相対的にリスク・リターン実績が優れていた(図中の左上)ファンドは株式ロング・ショート型が多かった。対象となった6本のファンドのうち、マイナスのリターンとなったファンドが2ファンドあるものの、リスク水準がグローバル株式の半分程度の水準で同水準のリターンを確保したのも2ファンドあった。ただし、この2ファンドはロング比率が常にショート比率を上回る戦略のファンドである。
- マネージド・フューチャーズ型ファンドで相対的にリスク水準の高いファンドが目立つのは、同一ファンドシリーズでアジア通貨や資源国通貨など他通貨へ連動させるファンドが対象となっているためである。
- マーケット・ニュートラル型やマルチ・ストラテジー型のこの期間のリターンは、相対的に見劣りした。
- SMA専用ファンドは、公販ファンドと同一投資先のファンドも多いが、特徴は相対的にリスクの低いファンドのラインアップが多いことであり、この期間のリターンはほぼ横ばいである。

図 公販ファンドのリスク・リターン (過去3年、年率)

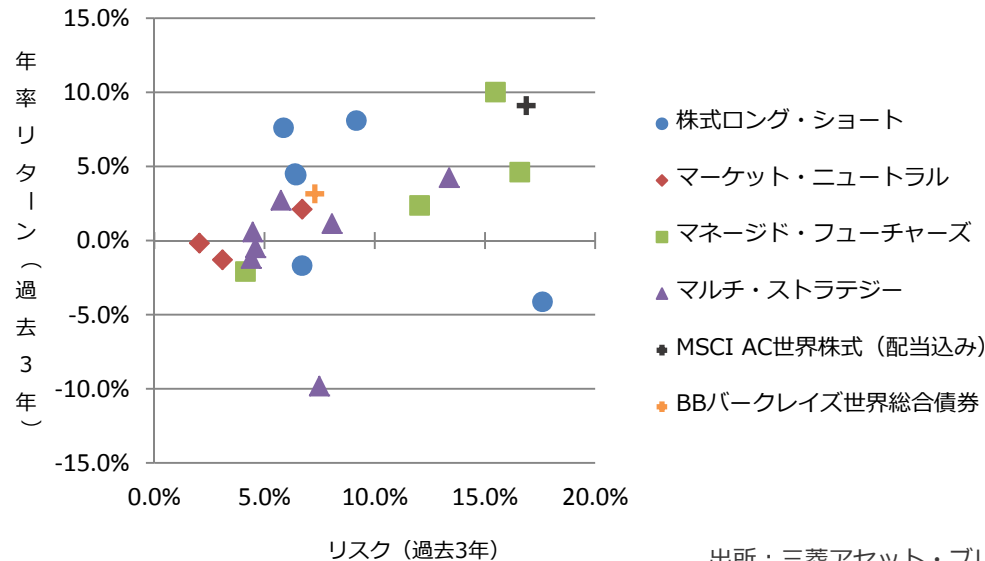
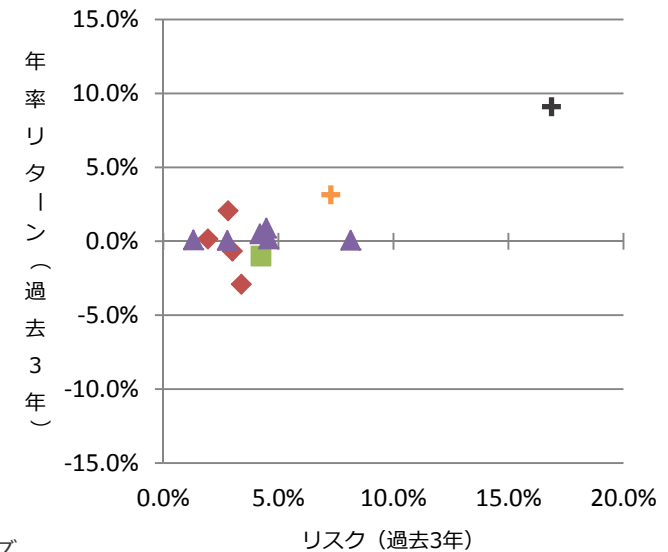


図 SMA専用ファンドのリスク・リターン (過去3年、年率)



■運用手法別リスク水準分布

- 計測期間を過去1年に短縮して対象ファンド数を公販ファンドで33本、SMA専用ファンドで23本に増やし、運用手法別のリスク水準の分布を確認する。
- 公販ファンド全体ではリスク水準が2.5%以上5.0%未満のファンドが12本(約36%)と最も多く、その次が5.0%以上7.5%未満の8本(約24%)である。SMA専用ファンドでも最もファンド数が多いのは2.5%以上5.0%未満の10本(約43%)だが、次が2.5%未満の8本(約35%)で、全体の半分以上がリスク5.0%未満のファンドであり、公販ファンドに比べてリスク水準の低いラインアップとなっていることが分かる。
- 公販ファンドの運用手法別には、マーケット・ニュートラル型は相対的に低リスク、株式ロング・ショート型は中リスク、マネージド・フューチャーズ型は高リスクの傾向がある。マルチ・ストラテジー型は多様な運用手法が含まれるため、リスク水準の分布も広い。日本の絶対収益型の公募ファンド全体では、5%前後のリスク水準のファンドが主流であるといえる。

図 公販ファンドのリスク分布 (過去1年)

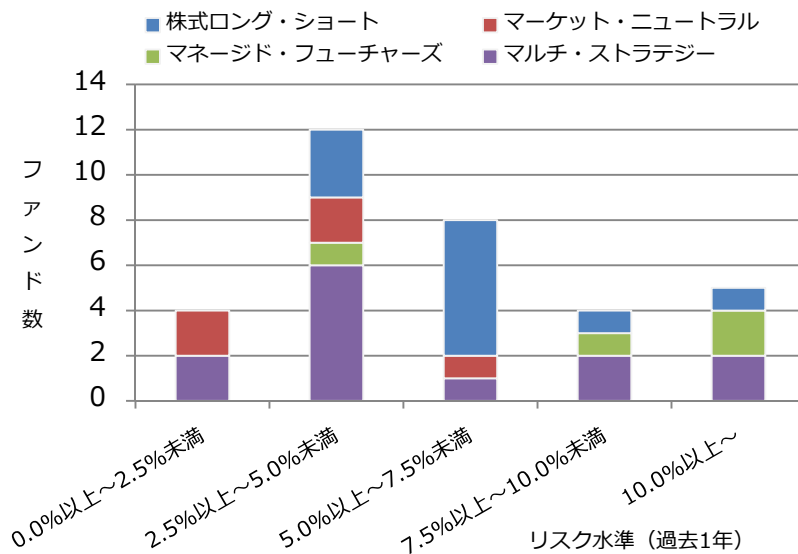
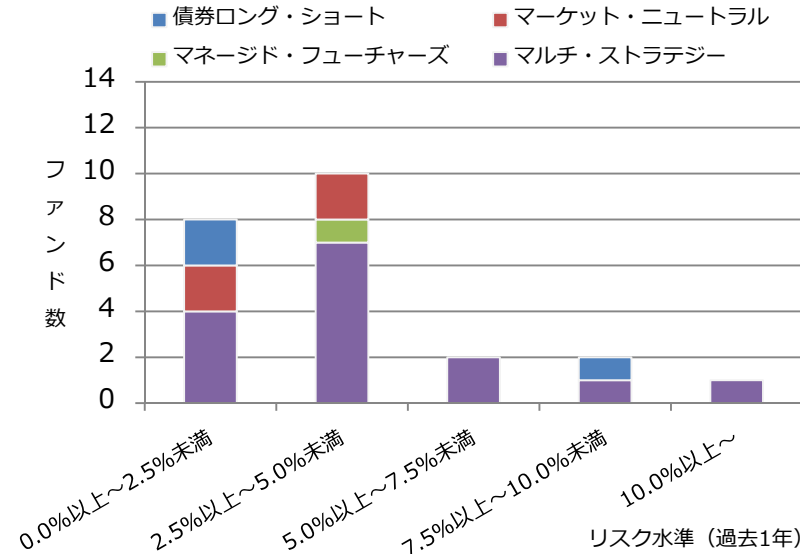


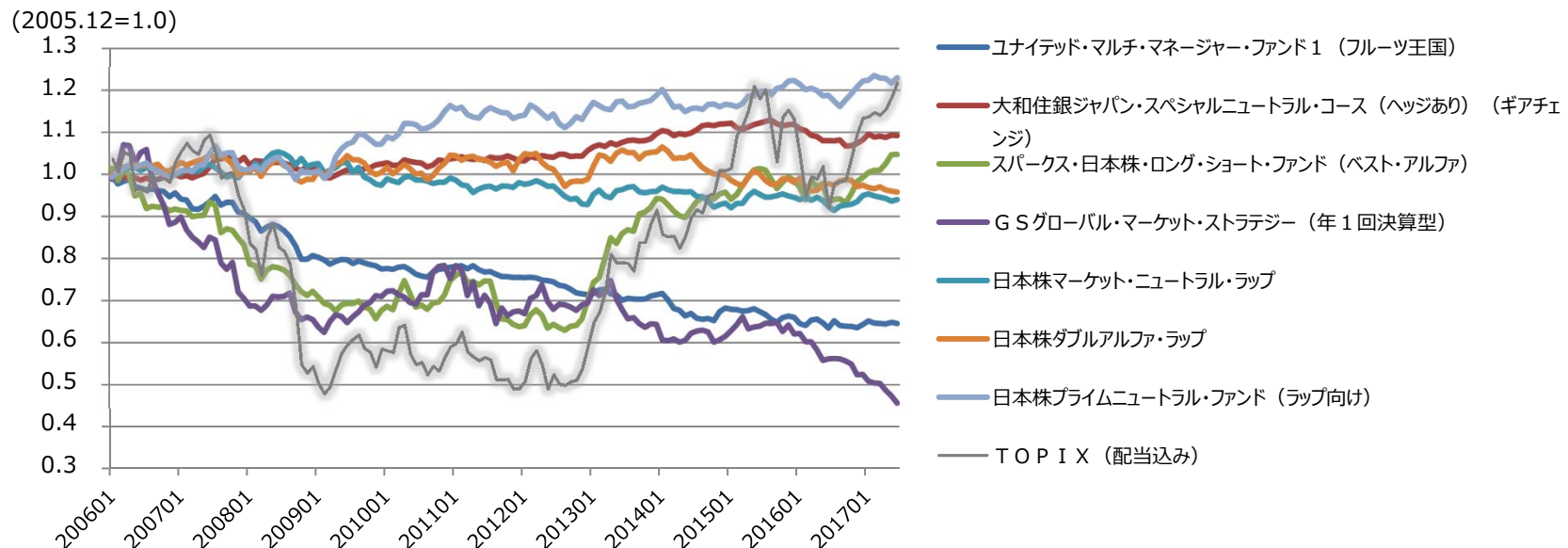
図 SMA専用ファンドのリスク分布 (過去1年)



■長期リターン推移

- 世界的な金融危機等の市場波乱局面も含めた長期の運用実績を確認する。対象ファンドは公募ファンド4本、SMA専用ファンド3本の計7本で、2005年12月末時点をもとに過去10年6か月間の累積リターンを示した。
- 運用手法別には、マーケット・ニュートラル型が4本、マルチ・ストラテジー型が2本、株式ロング・ショート型が1本で、マーケット・ニュートラル型が多いのは古くから設定されているファンドが多いためである。
- 対象7ファンドのうち、運用管理費用控除後でプラスのリターンを確保しているのは3ファンド、マイナスのリターンとなったのが4ファンドであった。相対的にリターンが良好なのはマーケット・ニュートラル型で、ロング側の銘柄選択が奏功したようである。逆に低調なのはマルチ・ストラテジー型で、リスク水準の有無にかかわらず戦略が有効に機能しなかったことが影響した模様である。株式ロング・ショート型は、対象ファンドがロング・バイアスの大きなファンドであるため、株価の変動と似たような推移となっている。

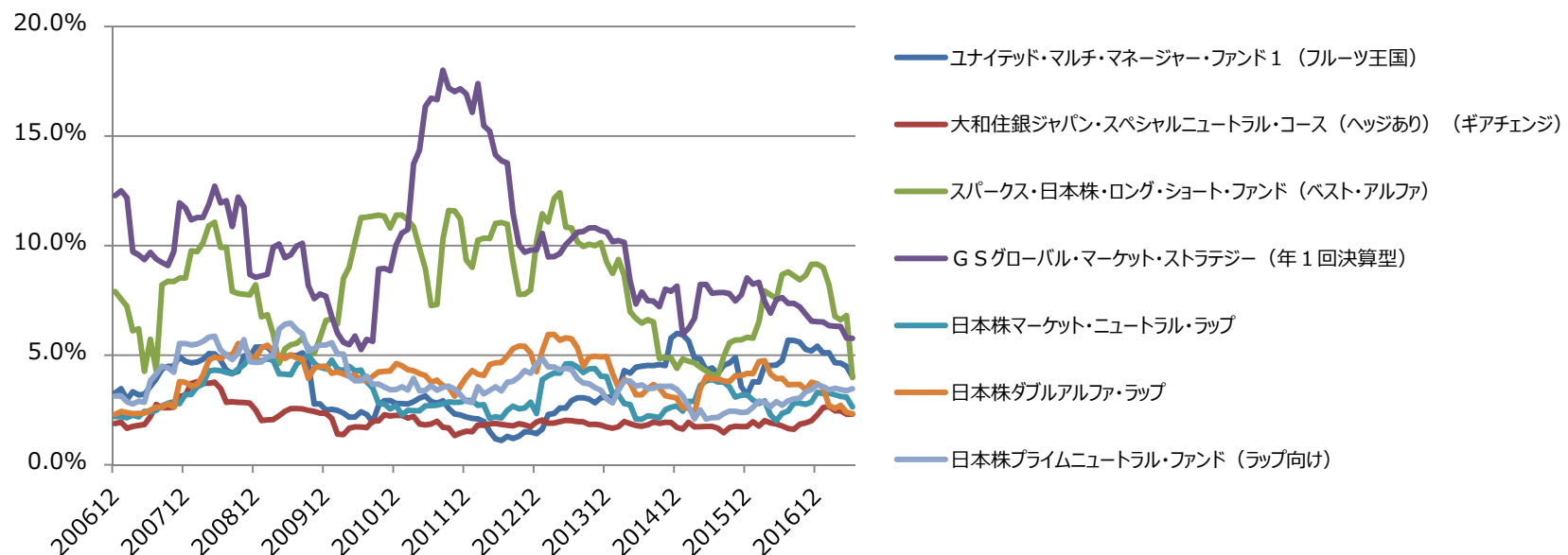
図 絶対収益型ファンドのファンド別長期リターン推移（2006年1月～2017年6月）



■ 過去1年リスクの長期推移

- 前頁同様に長期の運用実績がある7ファンドの過去1年リスクの推移を確認する。
- 絶対収益型ファンドでは、運用戦略の一環としてポートフォリオを一定のリスク水準となるようにコントロールする手法が一般的である。特にマーケット・ニュートラル型では、株式等のロング・ポジションとショート・ポジションをほぼ均衡するウェイトで保有するため、市場変動部分の影響が相殺されリスク水準は低めになる。過去を見ても、どのファンドも2%~6%の範囲に収まっている。
- マルチ・ストラテジー型では、ファンドごとの戦略によりリスク水準はそれぞれであり、今回対象となった2ファンドの過去10年のリスク(年率)は3.9%と10.2%であった。ただし、リターンは両ファンドともマイナス幅が大きく、リスク水準とリターンの幅に明確な関係性が存在するわけではなさそうである。株式ロング・ショート型(今回対象はロング・バイアス大)は、リターンは株式市場より若干劣ったが、リスク水準は概ね市場の半分程度であった。

図 絶対収益型ファンドのファンド別リスク(過去1年)推移(2006年12月~2017年6月)



■絶対収益型ファンド(公販ファンド)一覧

手法	ファンド名	投信会社	設定年月日	純資産 (201706) (百万円)	リターン(累積)			リスク		
					1年	3年	5年	1年	3年	5年
株式ロング・ショート	A R 国内バリュー株式ファンド(サムライバリュー)	AM-One	2011/11/30	5,184	7.5%	24.6%	45.0%	6.5%	5.9%	6.6%
	スパークス・日本株・L & S	スパークス	2003/2/14	801	12.1%	13.5%	61.5%	3.9%	6.3%	7.8%
	スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド(ベスト・アルファ)	スパークス	2002/3/11	929	12.2%	14.2%	62.7%	4.0%	6.4%	7.9%
	スパークス・日本株・ロング・ショート・プラス	スパークス	2009/6/30	172	18.9%	26.3%	103.5%	6.2%	9.2%	11.3%
	M A S A M I T S U データセクション・ビッグデータ・ファンド	ファイブスター	2015/8/28	1,359	13.3%	-	-	6.5%	-	-
	日本株ロングショート戦略ファンド(いつつぼし)	ファイブスター	2016/6/30	1,050	10.2%	-	-	7.0%	-	-
	ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり)	ブラックロック	2014/7/7	194	5.0%	-	-	2.7%	-	-
	ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジなし)	ブラックロック	2014/7/7	3,273	16.3%	-	-	9.6%	-	-
	B a y v i e w 日本株ロングショートファンド	ベビュー	2013/7/31	902	2.6%	-5.0%	-	4.8%	6.7%	-
	A I 日本株式オープン(絶対収益追求型)(日本 A I (あい))	三菱 U F J 国際	2017/2/1	12,652	-	-	-	-	-	-
	日韓ロング・ショートファンド	日本アジア	2016/5/16	491	10.7%	-	-	6.0%	-	-
	日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド(とこしえ)	日本アジア	2013/8/1	813	13.1%	13.8%	-	6.9%	6.4%	-
日本株ロング・ショート戦略ファンド(成長の風)	日本アジア	2011/6/20	146	18.2%	-11.9%	22.6%	10.3%	17.6%	18.5%	
マーケット・ニュートラル	日本株ツインフォーカスファンド<安定成長型>	バインブリッジ	2008/7/3	82	-2.0%	-3.8%	-5.6%	4.1%	3.1%	3.1%
	サイエンティフィック・エクイティ・ファンド(ザ・アメリカズ・ロングショート)	ブラックロック	2012/11/30	1,051	-1.0%	6.5%	-	6.4%	6.7%	-
	日本配当追求株ファンド(価格変動抑制型)(はいどう日本)	三菱 U F J 国際	2016/10/24	15,409	-	-	-	-	-	-
	マイ・ウェイ・ジャパン	大和住銀	2016/5/31	14,032	1.3%	-	-	2.3%	-	-
	大和住銀ジャパン・スペシャルニュートラル・コース(ヘッジあり)(ギアチェンジ)	大和住銀	2002/1/25	1,274	1.1%	-0.5%	5.0%	2.3%	2.0%	2.0%
	日本高配当株フォーカス(マイルドジャパン)	大和住銀	2016/5/2	733	4.5%	-	-	3.8%	-	-
	ロボット戦略世界分散ファンド(資産の番人)	T & D アセット	2016/9/30	16,517	-	-	-	-	-	-
	T C A グローバル・キャピタルファンド(毎月決算型)(スマートロボ)	三井住友トラスト	2011/12/12	169	-6.6%	-6.1%	-8.8%	3.6%	4.1%	4.2%
	ノムラ・グローバル・トレンド(アジア通貨コース)年2回決算型	野村	2011/4/26	1,005	6.5%	33.1%	58.8%	12.3%	15.5%	15.5%
	ノムラ・グローバル・トレンド(アジア通貨コース)毎月分配型	野村	2011/4/26	1,069	6.5%	32.4%	57.9%	12.3%	15.5%	15.5%
マネージド・フューチャーズ	ノムラ・グローバル・トレンド(円コース)年2回決算型	野村	2011/4/26	3,281	-9.0%	7.3%	-2.6%	7.8%	12.0%	11.2%
	ノムラ・グローバル・トレンド(円コース)毎月分配型	野村	2011/4/26	1,026	-8.9%	7.4%	-2.5%	7.8%	12.0%	11.1%
	ノムラ・グローバル・トレンド(資源国通貨コース)年2回決算型	野村	2011/4/26	1,265	14.5%	14.5%	30.9%	13.6%	16.6%	17.1%
	ノムラ・グローバル・トレンド(資源国通貨コース)毎月分配型	野村	2011/4/26	2,248	14.6%	14.1%	30.4%	13.6%	16.6%	17.1%
	G S グローバル・マーケット・ストラテジー(年1回決算型)	G S	2004/10/28	765	-18.8%	-26.7%	-32.8%	5.8%	7.5%	8.1%
	G S グローバル・マーケット・ストラテジー(年2回決算型)	G S	2004/10/28	592	-18.8%	-26.7%	-32.8%	5.8%	7.5%	8.1%
	ミルバーン・コーナーストーン・ファンド(未来へのいしずえ)	リクソー	2015/4/13	5,397	15.3%	-	-	10.1%	-	-
	G A R S ファンド	三井住友トラスト	2013/10/17	875	2.2%	1.7%	-	3.0%	4.5%	-
マルチ・ストラテジー	マクロ・トータル・リターン・ファンド	三菱 U F J 国際	2016/6/21	41,146	-4.6%	-	-	7.5%	-	-
	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)成長型	三菱 U F J 国際	2012/4/10	1,556	-3.9%	3.5%	11.8%	4.6%	8.1%	7.8%
	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)分配型	三菱 U F J 国際	2012/4/10	481	-3.9%	3.3%	11.5%	4.6%	8.1%	7.9%
	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)成長型	三菱 U F J 国際	2012/4/10	1,834	6.4%	13.3%	48.1%	12.1%	13.4%	12.9%
	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)分配型	三菱 U F J 国際	2012/4/10	1,088	6.5%	14.2%	48.5%	12.1%	13.3%	12.9%
	N B ハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド(為替ヘッジなし) - 予想分配金提示型 -	大和住銀	2014/8/29	54	14.0%	-	-	9.5%	-	-
	N B ハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド(部分為替ヘッジあり) - 予想分配金提示型 -	大和住銀	2014/8/29	99	2.3%	-	-	1.9%	-	-
	N B マルチ戦略ファンド	大和住銀	2016/2/17	252	2.9%	-	-	2.0%	-	-
	日興 G A M エマージングストラテジー・ファンド(資産成長型)	日興	2011/2/25	328	4.0%	8.4%	22.1%	3.9%	5.7%	6.5%
	日興 G A M エマージングストラテジー・ファンド(毎月分配型)	日興	2011/2/25	2,308	4.1%	8.7%	22.6%	4.0%	5.8%	6.5%
	ユナイテッド・マルチ・マネジャー・ファンド1(フルーツ王国)	日本アジア	2001/3/12	829	1.7%	-3.6%	-13.3%	4.0%	4.4%	4.1%
	世界分散投資戦略ファンド(グローバル・ビュー)	野村	2016/5/13	2,284	4.2%	-	-	4.0%	-	-
野村グローバル・ロング・ショート	野村	2011/11/25	635	0.8%	-1.5%	9.0%	3.5%	4.6%	4.7%	

■絶対収益型ファンド(SMA専用ファンド)一覧

手法	ファンド名	投信会社	設定年月日	純資産 (201706) (百万円)	リターン (累積)			リスク		
					1年	3年	5年	1年	3年	5年
債券ロング・ショート	ブルーベイ クレジットL Sファンド (米ドルコース) (SMA専用)	三井住友トラスト	2015/5/29	1	15.2%	-	-	9.7%	-	-
	ブルーベイクレジットL Sファンド (SMA専用)	三井住友トラスト	2014/7/8	500	4.6%	-	-	1.4%	-	-
	野村ブルーベイ・トータルリターンファンド (野村SMA・EW向け)	野村	2015/4/1	736	4.3%	-	-	1.4%	-	-
マーケット・ニュートラル	日本株ダブルアルファ・ラップ	AM-One	2005/8/31	454	-2.0%	-8.5%	-5.4%	2.3%	3.4%	3.9%
	日本株マーケット・ニュートラル・ラップ	AM-One	2004/11/9	345	1.8%	-2.0%	-3.3%	2.6%	3.0%	3.2%
	ブラックロック・アメリカ大陸ロング・ショート・ファンド (ダイワ投資一任専用)	ブラックロック	2016/9/26	340	-	-	-	-	-	-
	ニューメリックインベスターズ世界株式L Sファンド (SMA専用)	三井住友トラスト	2017/3/9	197	-	-	-	-	-	-
	日本株プライムニュートラル・ファンド (ラップ向け)	三菱UFJ国際	2005/12/16	1,016	3.5%	6.3%	7.5%	3.5%	2.8%	3.3%
	SMB Cファンドラップ・ヘッジファンド	大和住銀	2007/2/20	38,575	1.2%	0.5%	5.8%	2.1%	1.9%	1.8%
マネージド・フューチャーズ	TCAファンド (SMA専用)	三井住友トラスト	2010/12/17	999	-5.1%	-3.0%	-4.1%	3.9%	4.2%	4.2%
マルチ・ストラテジー	新光グローバル・マクロ戦略ファンド (ファンドラップ)	AM-One	2015/11/16	1,357	-2.2%	-	-	1.1%	-	-
	ヘッジファンド・リターン・ターゲットファンド・為替ヘッジあり (SMA専用)	BNPパリバ	2010/2/5	1,274	7.3%	1.5%	9.2%	2.9%	4.2%	4.0%
	FWりそな絶対収益アクティブファンド	りそなAM	2017/1/5	6,873	-	-	-	-	-	-
	KIMマルチストラテジーリンクファンド (SMA専用)	三井住友トラスト	2016/1/20	370	8.9%	-	-	4.2%	-	-
	SLI GARSファンド (SMA専用)	三井住友トラスト	2012/12/4	3,283	2.5%	2.7%	-	3.0%	4.5%	-
	SLI GARSファンド (米ドルコース) (SMA専用)	三井住友トラスト	2015/5/29	64	13.1%	-	-	10.2%	-	-
	SuMi TRUSTマルチストラテジー／SMARS (SMA専用)	三井住友トラスト	2016/1/20	507	2.4%	-	-	2.6%	-	-
	ピクテマルチストラテジーリンクファンド (SMA専用)	三井住友トラスト	2016/1/20	518	4.3%	-	-	1.8%	-	-
	ヘッジファンドSMTBセレクション (SMA専用)	三井住友トラスト	2017/1/31	181,001	-	-	-	-	-	-
	ヘッジファンドセレクション (ラップ向け)	三菱UFJ国際	2017/3/27	4,567	-	-	-	-	-	-
	マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	三菱UFJ国際	2015/1/30	964	4.3%	-	-	3.1%	-	-
	ダイワ／JPMオルタナティブ戦略オープン (ダイワ投資一任専用)	大和	2016/9/26	228	-	-	-	-	-	-
	ダイワファンドラップヘッジファンドセレクト	大和	2007/11/1	134,339	0.5%	0.3%	0.9%	1.1%	1.3%	1.4%
	ダイワ世界資産戦略ファンド (ダイワSMA専用)	大和	2013/6/7	2,648	-6.2%	0.2%	-	7.0%	8.1%	-
	NBマルチ・ストラテジー・ファンド (ダイワSMA専用)	大和住銀	2014/8/8	845	13.3%	-	-	9.5%	-	-
	ノムラスマートプレミアム (野村SMA・EW向け)	野村	2015/4/1	1,846	-1.9%	-	-	5.8%	-	-
	ファンドラップ (ウエルス・スクエア) オルタナティブ	野村	2016/10/20	35	-	-	-	-	-	-
	野村グローバル・アセット・モデル・ファンド (野村SMA・EW向け)	野村	2015/4/1	1,440	1.5%	-	-	3.5%	-	-
	野村グローバル・アセット・モデル・ファンド (野村SMA向け)	野村	2007/10/30	572	1.5%	0.5%	13.3%	3.4%	4.6%	4.8%
	野村ファンドラップオルタナティブグローバル・アセット・モデル	野村	2006/10/4	35,137	0.9%	0.2%	7.8%	2.1%	2.8%	2.9%
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	野村	2016/10/21	13,192	-	-	-	-	-	-	

- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
- MAB投信指数「MAB300」(以下、本指数)に関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。また、本指数を商業的に利用する場合にはMABの利用許諾が必要です。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリストグループ

標(しめぎ)・佐藤・勝盛・大野

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

TEL:03-6721-1010 FAX:03-6721-1020

URL: <http://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会